



# ふれあい

記事と情報は下記へ  
周陽公民館  
☎28-6515

## 特集号！ 子供



夏まつり子どもみこし

「かわらぬ」子ども特集号の発行に当たって

周陽地区子ども会連合会連絡協議会会長

御手洗 寛

子ども達にとりて楽しかった夏休みも過ぎ、学芸に、スポーツに、秋も本番となりました。

子ども達の夏休みの生活をふりかえり、「ふれあい」特集号をつくってみました。みなさんの夏休みの思い出は何かありましたか。

さて、昨今は化学技術や経済の高度化に反比例して、社会生活の基本である「お互いの助け合いと協力」の精神を失われ、心の豊かさも人間性も失われつつあります。

私達、スポーツを含めた青少年の育成団体指導者は、子ども達の心の豊かさや協力、助け合いの精神を求め、人間性の復活に努力しているところです。

みなさんの心温かい子ども達を育成できるように努めてまいります。

読書の秋「本が好き」子どもに

周陽小学校長 津田和矩

「近頃の子どもは本を読まない。マンガやテレビばかり見る」「などよくいわれます。特別に本好きの子どもをさがして、いじめの活字はなれ現象がだんだん広がってきています。これは、すべて私たちの責任です。子どもは子どもに物語を読ませ、子どもの想像力をかきたて、思考力をきたえ、言葉を豊かにしてやる義務があるのです。

私も子どものころは、そんなに本が読まわっていませんでした。田舎ではめったに本は買ってもらえませんでした。やっとねだつて買ってもらった一冊の本は、主物のようになって枕元に置いて寝た思い出があります。また、少年雑誌の競争物語を丸暗記するほど読みあかした記憶があります。テレビのなかつた時代のことですから、身のまわりの活字文化が、心を引かれたのも当然のことかも知れません。

それにしても現在、本や雑誌はあふれるほど多く、その上テレビやゲームなどが子どものまわりを取りまわっています。このように社会情勢の中で、おとなたちがほんとうに読みたい「活字好きの子」をつくるようにしないと、本はなれが進むばかりです。本を読むことは、いろいろな知識を身につけること以上に大切なことだと思います。

◇◇◇特集号に下せて◇◇◇

周陽ソフトボールスポーツ少年団

指導者 竹市照夫

私達の団も早稲田に入りました。昨年お隣様で無事五周年記念大会を行つたことが出来ました。我が団は、指導者と母集団が一体となり子ども達及び周囲の力をそそいでいます。

指導している子ども達は、小学校一年生から六年生までの幅広い年齢層で、しかも一番大切な成長期に子ども達を扱っているのですから、十分な計画のもとに指導しなければなりません。

「このうちの中で、私達指導者は、子ども達の特徴・特性を指導して行く上での数々の問題点を踏まえながら、規律とマナーを指導軸として指導して行きます。また、スポーツ少年団活動を通していろいろな体験をさせることで、家庭・学校・地域活動に参加させることで重要なことであると考へて行きます。

スポーツ少年団活動を通して子ども達の豊かさを人間性づくりにつくりだすことが私たちの出来事となります。指導者達もあつたいてい思っています。

物語を順序だてて考える訓練は必要です。子どもの心を豊かにする上にも大いに役立ちます。したがって、「本好きの子は勉強が好きになる」といえるでしょう。この逆も真なり、勉強が好きな子は勉強が嫌いという事になりかねないのです。

「好」の字は「好む」といふことからも分かります。子どもに読書をする目的は、まず親が読書の楽しさを示すことです。そのうち家庭内の言語環境が豊かになり、子どもの読書意欲を盛んにします。親がテレビに夢中になつていて子どもに本を読めといふのは無意味でしょう。

次に、子どもの読む本を親が真剣に読んでみる事です。よく読むと、主人公の行動をおおして話のなりゆきや作者の考え方がわかってきます。そして、本の中味について子どもと対話するのです。これは本の中味について子どもと対話するのです。これは本の中味について子どもと対話するのです。これは本の中味について子どもと対話するのです。

PTA活動の中にも「読書会」があり、楽しんで読まれています。公民館の蔵書を活用することもぜひお願いします。地域ぐるみで読書の輪を広げていきたいものです。

周陽ミニバスケットボールに思う

指導者 角元悦子

周陽ミニバスが生まれて、七年になる。小学校一年生の子が、中学生になったのだ。卒業も近づくことになる。

これは、第4期生の中三年生が山口県代表として全国大会に出場する栄誉を手にした。ミニバスケットからバスケットと、六年間の継続と努力の成果ではなからうか。

球技の楽しさ、チームプレーの楽しさを知り、教えらるることを喜び受け入れ、確実に自分のものにしていく。そして、教える側、教えられる側の相互の信頼を深めていく。その信頼関係が未来づくりにつくりだすこと祈ります。

周陽ハイキング大会

十月十二日(日)に行われます。楽しんでください。

# 子供料理教室

八月二十日・二十三日料理教室の子ども達を  
集めて開催された。

初めて包丁をもった人、初めてガスを使う人が  
たくさんおられました。おいしい料理が出来ま  
した。

子ども達の作った料理をお母さんと一緒に審査  
会、「お母さんの作った料理よりおいしいわー」  
と大評判。

栄養改善委員の營養先生に開催された目的を聞  
いてみました。

『近ごろ「外食産業」「インスタント食品」の  
盛んなときに、自分の手で野菜を洗い、皮をむき  
仕上げていくことが少なくなって、少しでも料理に興  
味をもち、大まかになってから自分の食事の管理と選  
択が出来るようにしてほしいと思っています。』

『来年も開催します。』とほりきっておられ  
ます。

中学一年 羽田 英治

ぼくは、料理を作ることがとても好きで、今回  
の料理教室にも参加しました。

おもにコロケを作ったのですが、玉ネギを切  
るとき、目にしみない切り方や、コロケの作り  
方など、多くのことを学びました。しかし、やは  
り玉ネギは目にしみず...。

苦労して作ったコロケや、その他の料理はい  
ままで口にしたことのない最高のものでした。

食事は毎くたちの成長にとってとても大切なも  
のであり、これからも自分でおいしい料理を作っ  
て食べたいです。また、母の誕生日やパーティー  
の時、ぼくの料理をやりたいです。

小学校二年 まついつい まゆみ

わたしは、おひつりがすまのりやひつり教  
室に行きました。

みんなと協力して、やさいをきいたり、あつ  
たりいしゅうけんめいやりました。

できたコロケやピザを食べてみると、とて  
もおもしろかったです。

先生ありがとうございました。またおしえてく  
ださい。

# のびゆく徳山の子育成人大会

◇◇◇相模の部に参加して◇◇◇

九旗 六年 光 長 俊

ぼく達のチームは一回戦の相手がとても強そうに見えて、とても勝てな  
く、すぐに負けてしまつて思っていたけれど、四旗一敗で勝ち、一試  
合目も五旗〇敗で勝つて、決勝まで勝ち進みました。

決勝戦は、四旗Bチームとの対戦でしたが、ぼく達のチームが優勝しまし  
た。金メダルをもらった感激は、六年生最後の夏に良い思い出が出来ました。  
お世話になったみなさんありがとうございました。



「四旗野球部」子どもみこしに参加して  
◇◇◇◇◇キョウシキみこし◇◇◇◇◇  
六年 楊 井 望 夫

私達の地区では「キョウシキ」のおみこ  
しを作りました。最初は、「ピックリマン」  
とか「マリリン」などいろいろの旗とかい  
まいちピンとこない意見でストップしてし  
めました。それならだれかが、「キョウシ  
キ」を作ったのです。

みんなだまを賛成して、いつのまにか  
「キョウシキ」になっていきました。

作る時にも楽しいことがたくさんありま  
した。

自分達の地区のおみこしが、みんなの力  
でできていくのを見るのは、とても楽しい  
ことです。作業するのも楽しいことです。  
でき上がった時は本当にうれしかったです。  
みんなもうれしそうでした。

一人一人の力を合わせて作った「キョウ  
シキみこし」。けっさく賞はとれなかつ  
たけれど、とても思い出になりました。

おみこしをわしたと喜び、すくすくおし  
い気がしてうれしかったです。



「西日本・大鳴門橋大会の思い出」

四旗野球部スポーツ少年団六年  
飯 塚 隆

朝もやの中に瀬戸大橋がはつきり見えてきま  
した。そしてやがて西日本大鳴門橋大会が行われ  
鳴門市に近づいてきました。

ここまでの来歴はいろいろありますが、あつて徳山  
市の準決勝ではシャランゲンで勝つたり、ものす  
い響きの中で戦った山口県東部地区大会、決勝  
で山口市の大旗チームに勝つたときのうれしが  
思い出されます。

試合は、地元の徳島の阿波ファイターズとい  
うチームと戦いました。口ひらき合っていること  
は、残念ながら逆転で負けました。

試合が終わった時、なみたが止まりませんでした。  
でもみんな自分の持つ力を一杯出しました。  
そして、宿でみんなと食事をして遊んだら、  
瀬戸大橋、大鳴門橋に行けたこと、吉野川遊園地  
で遊べたこと、こころひらき合ったこと、か  
と、楽しい思い出ばかりです。

小学校最後の夏休みの良い思い出になりました。  
お世話くれたみなさん、ほんとうにありがとうございました。  
教えてもらった、他の人と仲良くチームワーク  
が、がんばる気持ちを大切にしていきたいと思いま  
す。



新聞を持つ常任委員長

周南第3団地連絡協議会（周南第3団地・瀬  
戸見町第3市宮住宅・瀬戸見町市住第3団地9  
棟の各自治会が構成されている。）では、近所  
に住んでいながら「話もしたことがない」「あ  
いさつもしたことがない」ということを少しで  
もなくし「ふれあい」のある地域づくりをめざ  
し、「あおぞら」が発行されました。

会長の常任委員長は、「この「あおぞら」によ  
って多くの人達のふれ合いが少しでも深まるこ  
とが出来ればよいのですが。」とはりきってお  
られます。

取材活動も大変でしょうか頑張って下さい。

あなたの善意をバザーにお寄せ下さい

ボランティア協賛基金  
共同募金

10月9日(日) 10:30~15:00 体育館(福祉の市会場)

主催/徳山市社会福祉協議会・山口県共同募金徳山支会  
お問い合わせ先/徳山市社会福祉協議会事務局(電話:22-8700)

このバザーの収益金は、今年度の共同募金と、本市ボランティア協賛基金として、本市の社会福祉事業に有効に活用させていただきます。

出品物の例

- 家庭用日用品(おけい、タオル、コップ、ナベ)
- おもちゃ、書籍(マンガ、児童書、雑誌)、遊具
- 美術工芸品、電気器具類、音楽、スポーツ用品
- 手づくり作品など、何でも

新鮮な肉類や調味料など貴重品は当日会場の方へ持ち下さい。

バザー出品物受付! 9月1日~30日

出品物の受付場所  
徳山市社会福祉センター(宮田町) 電話:22-8700  
3天所(徳山)公民館